



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Report Niigata



2018~19 年度
新潟ロータリークラブ会長
若槻 良宏



インスピレーションになろう

国際ロータリー
2018-19 年度テーマ

インスピレーションになろう

新潟 RC 4 月第 4 例会 (2019.4.23) No.3279

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱

(2) 若槻 良宏会長挨拶

皆様こんにちは。4月21日に親睦委員会主催のチャリティゴルフコンペが開催されました。参加者20名から合計6万円の寄付金をお預かりしましたので、ロータリー財団、米山奨学金、青少年育成基金に寄付をさせていただきました。参加者の皆様、ありがとうございました。

さて、本日は、私たちのクラブが1940年4月23日に創立されてから79回目の誕生日になります。チャーターメンバーの一人である伊藤文吉さんは、創立10周年誌において、「新潟人は、英語をきらい、他のクラブと横の連絡をすることを好まず、新潟市だけで勝手に運営することを主張して、仲々出来さうもなかった。」と設立の際の苦労話を述べられています。そして、伊藤文吉さんは、「馬鹿げた第二次世界戦争はそれ(国際性の欠如)で起り、第三次世界戦争が起こるとすれば、やはりその国際性の欠如が必ず原因する。その不幸を人類の為未然に防ぐのがロータリーの神聖な存在の理由である。」と述べられています。

また、本日は、平成年代最後の例会になります。平成という時代を総括することは私にはできませんが、日本が

直接当事者になった戦争がなかった時代であることは間違いありません。退位される天皇陛下も、昨年の天皇誕生日の宮内記者会代表質問において、「平成が戦争のない時代として終ろうとしていることに、心から安堵しています。」とお言葉を述べられています。

戦争経験者がいなくなり、勇ましいことをいう人が増えると、戦争に近づくと言われます。令和の時代には、戦争経験者がいなくなります。そのような時代になるからこそ、私たちロータリアンは、先の大戦を経験したロータリアンの言葉を、語り続ける役目があるのだと思います。

本日は、特別な例会日です。平成最初の例会(平成元年1月10日)から数えて1458回目の例会になります。このあと、この1458回もの例会を参加されてきた小山楯夫副会長からスピーチをしていただきます。その後、ノンアルコールシャンパンで乾杯をし、丸屋本店の本間彊さんからご準備いただいたケーキを召し上がっていただき、皆様とお祝いをしたいと思っております。

本日もどうぞよろしくお祈りいたします。

(3) 創立記念日に因み小山 楯夫副会長のお話
(内容は別紙に掲載)



(4) 創立記念日を祝い乾杯(石本隆太郎 PG)



ボ”&“パー・トリプル”でハンディーに恵まれ、またバーディーを4つ取った渡辺雅美さんに刺激され初めて優勝することができました。パー4で第一打をやや左に引っ掛け松林に。第2打は松林からピンまで170ヤード程あり、3m程上には木の枝が張り出しグリーンを狙うには約2mの松の木の隙間を通し、30ヤード程度フックを掛けないと乗らない状況で、真っ直ぐ飛んだらOBというシチュエーションでした。5番ユーティリティでパンチショットでフックを掛けたボールは、グリーン手前でフックが掛かり花道を通って2オンに成功！低いボールでもフックボールが打てることが実感でき、自らを褒めている自分がいました。次はパー5のグリーンまで80ヤードの第3打。目の前に大きな木があったため20ヤード程度フックを掛けグリーンを狙ったつもりのボールはシャンクし右方向へ！ボールの行方を見ていると田中堅一郎さんが運転するカートの方向へ飛んで行きました。カートに当たる音がしたので何処に跳ねたか？と見ましたが、ボールが跳ねた形跡がありません。何も無かったようにカートはそのまま30m程進み停車。田中さんにお詫びし、カートを見ると動いていたカートの後ろのセンター籠に何とホールインワンしていました。ゴルフを始めて8年目。人生いろいろの一日でした。ご一緒いただいた田中堅一郎さん・細野義彦さん・渡辺雅美さんありがとうございました。

(9) 「職業奉仕こそ、究極の幸せ」

石橋 正利職業奉仕委員長

(5) 一年交換学生Rane Biekerさん挨拶

(6) 委員会報告

・岡村親睦委員長より4月21日親睦ゴルフコンペ参加、賞品提供の御礼

(7) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(秋山 博一委員)

ゴルフコンペ参加者一同

武田 直己君

米山奨学会寄付発表(新田 幸壽委員長)

ゴルフコンペ参加者一同

塚田 正幸君 仙石 正和君

青少年育成基金寄付発表(細野 義彦委員)

ゴルフコンペ参加者一同

小林 敬直君 小林 悟君

田中堅一郎君 細野 義彦君

(8) ニコニコボックス紹介(武田 眞二委員)

・若槻 良宏会長 ささやかではありますが、79回目の創立記念日を皆様と御祝出来てニコニコします。

・鈴木 滋弥君 昨日、ちよっと嬉しい事がありました。

・東方 幸雄君 日曜日のチャリティーゴルフで“パー・ダ

(10) 4月23日例会の出席率 68.18%

会員数 90名(出席免除会員 9名)

出席者 60名(出席免除会員 7名を含む)

(2週間前メーク後 80.95%)

5月14日の例会予定

「青少年育成基金について」

青少年育成基金管理委員長 田中堅一郎君

「会員スピーチ」

東日本電信電話(株)理事、新潟支店長 飯塚 智君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigataarc.jp/>

昭和・平成の新潟ロータリークラブ

2019年4月23日
副会長・情報委員長 小山 楯夫

新潟 RC は、昭和 15 年(1940 年)4 月 23 日イタリア軒で仮発会式を行い、同年 5 月 29 日、RI 加盟承認、登録番号 5,244、創立会員 29 名で始めました。

然し、第二次大戦が激しくなり 8 月に入り日本の全ての RC が RI を脱退し解散します。新潟クラブも設立僅か 4 ヶ月足らずで 9 月 10 日解散。然し同年、12 月 11 日火曜クラブとして例会を継続。この時期の例会には、警察がサーベルを下げ、会場の後ろに立って敵国であるアメリカから流行ってきた得体の知れないクラブ(会)が敵国に情報を流しているのではないかと監視していたそうです。その為、火曜会と称し日の丸を掲揚、君が代を斉唱し、愛国者であることを証明したのだそうです。

初代会長は、本島 一郎氏(新潟医科大学整形外科初代教授)で、昭和 20 年まで会長を務めています。2 代目の会長は、先々代 伊藤文吉氏この方も 4 年会長を務めました。

横道にそれますが、年代は判りませんが多分昭和 30 年代と思います。新潟クラブには現在の様に同好会があったようです。

平成 25 年 4 月、事務局移転で日の目を見た段ボールの中からセピア色の写真が数十枚見つかり、首からカメラをぶら下げたオジサンが小太りのヌードモデルを囲んで写真を撮っている写真が何枚もありました。私がお会いしたことのない品の良い方達ばかりでした。多分「写真愛好会??」「ヌード愛好会??」と云う同好会かも知れませんか?? これ等の写真は全部モデルの後ろから撮られたもので、モデルの正面はオジサン方の真面目な顔が写っています。中には、カメラを持参していない方もおられましたが、多分、写真同好会幹事役だったのかも知れません。

元に戻ります。昭和 24 年 11 月 8 日、会員 24 名で RI より再承認されます。当時のスポンサークラブは東京 RC で、特別代表は柏原紙商事の 10 代目柏原孫左衛門 氏であり、当クラブ創立 70 周年式典に 12 代目柏原孫左衛門 氏(東京クラブ幹事)にご臨席頂きました。

東京クラブとのご縁は深く、昭和 30 年 10 月 1 日、現在の市役所前から出火、台風の影響で風が強く、新潟大火となり中心地が殆ど焼野原となりました。クラブの罹災会員 20 名以上。10 日後に開催を準備していた新潟市での地区大会が開催不可能となりました。然し、東京クラブを中心に都内各クラブのホストにより、急遽帝国ホテルで 10 月 11 日無事大会を開催する事が出来ました。10 日間の準備期間でしたが、全国から 418 名が参加した記録があります。

翌 31 年には、RI 第 60 地区(当時は日本全土が一つの地区)大会の余剰金約 129 万円と、全国から寄せられた見舞金約 125 万円の中から、新潟市復興資金児童福祉対策の一助として、200 万円を寄付しました。その資金を基に昭和 33 年 5 月市内 20 番目の保育園が設立され、「ロータリー保育園」と命名されました。毎年クリスマスや節分には訪問し、幼児に元気を提供しています。

平成 2 年クラブ創立 50 周年記念事業では、大谷 正雄会員の提案で「青少年育成基金」を設立し、最初の事業は良く分かりませんが、日本基督教団新潟教会の榛名牧師と敬和学園高校のジョン・モス校長の関係で??? 西太平洋(ミクロネシア連邦)ポナペ島(現在ポンペイ島)に学校を建設する「ポナペ島の青少年に対する教育援助」100 万円贈呈する事になりましたが、誰が贈呈式に出席するのか、とうとう分からず、当日、「東京から来た」と言うミクロネシア留学生?? 或いは教会関係者?? ポナペ島からではない人物に渡すことになりました。詳しい事は、山本正治さんをご存知かもしれません。平成 4 年ポナペ支援会の支援として敬和大学特別留学生に 50 万円贈呈。

平成 11 年(1999 年)までは、新潟・群馬 2 県が RI. 2560 地区で、1 年交代でガバナーが選出されていましたが、平成 12 年 7 月 1 日から分割し、古い新潟県が 2560 地区の番号が残り、群馬が 2840 と新地区になりました。

私が入会させられた昭和 55 年頃、新潟クラブには西村二郎、伊藤辰治、白勢誠一、橋本喜代治パストガバナー諸氏のご健在でとても怖い存在でした。昭和 59 年には渡辺巖一氏がガバナーに選出され、平成 16 年には横山芳郎、平成 23 年には石本隆太郎ガバナーが選出されました。この二人のガバナーに地区幹事を任命され、横山ガバナー一年度早々には中越地方の大洪水と 10 月、新潟県中越大地震が発生。石本ガバナー一年度には東日本大震災と災害に見舞われましたが、私との因果関係は全くありません。これ等の災害を通して、ロータリーの奉仕活動を改めて考え直す機会になりました。

私の入会当時、例会場片隅の小さなテーブルには、ウイスキーボトルと水、氷が有り、誰でも竹筒の貯金箱に小銭を入れ、自分で水割りなどを作って食事しながら歓談していたものです。いつの間にかなくなり、私が会長の時から復活させワイン、日本酒、缶ビール、ウイスキーなど何でも 500 円でセルフ・サービスし、釣銭は社会奉仕費の足し?? にして貰おうと 10 年少々前までやっていたのですが、飲む人がいなく消えてしまいました。

12 時 30 分点鐘が終わると山内健治氏の指揮とピアノ伴奏で現在と同じく第 1 例会では、国歌斉唱⇒ロータリーソング斉唱⇒そして、日本の唱歌を歌い食事になります。食事時間は僅か 10 分少々です。イタリア軒さんには随分ハードな昼食会であったに違いありません。

平成 4 年私は、ロータリー財団の G. S. E(Group Study Exchange)と云うプログラムでイングランドに派遣され、多くのクラブに招かれ例会を見習い、帰国後、ゆっくり食事・歓談できる今の例会方式を提案しました。今では、多くのクラブで当たり前のように見られる方式です。

最後に、創立以来、幾つかのクラブ・スポンサーである新潟クラブは、他クラブからリーディング・クラブ、伝統と格式を有するクラブと称賛されてきました。創立 80 周年を迎え、これからも分区、地区の名実共にリーダークラブであるよう祈念いたします。

発会式	1940 年 4 月 23 日 イタリア軒
R. I. 加盟承認	1940 年 5 月 29 日
承認番号	5244(日本で 36 番目)
創立当時ガバナー	森村 市左衛門 29 名 会津 亦質、藤田 儀平、長谷川 徹、浜 州一、伊藤 文吉、 池田 正平、井上 英、小林 力三、小林与八郎、本島 一郎、 真野 善壽、松岡 益雄、宮崎藤次郎、南部 虎造、西川 外吉、 小幡 啓二、小田磯太郎、白勢 量作、斎藤庫四郎、斎藤 一男、 斎藤 貫一、塩野健太郎、鈴木 春雄、末松 春彦、田代 一郎、 敦井 栄吉、上原 堅次、山県 鼎一、村田 三郎 ※1940 年 9 月 10 日、戦争激化により解散するが、同年 12 月 11 日 新潟火曜クラブの名前で再発足の日まで継続された。
チャーターメンバー	
再発会式	1949 年 10 月 25 日 イタリア軒
再承認	1949 年 11 月 8 日
再発会当時ガバナー	手島 知健(当時ガバナー。日本全土が一地区で RI. 第 60 地区となっていた。)
スポンサークラブ	東京ロータリークラブ
特別代表	柏原孫左衛門(当時は特別代表の定めなきも、これに代わるもの)

現在会員数

2019 年 4 月 23 日現在 90 名

姉妹クラブ

RI. 3450 地区 香港島東ロータリークラブ

友好クラブ

前橋ロータリークラブ

スポンサーになったクラブ

秋田、長岡、新津、新発田、白根、佐渡、新潟東、新潟南

コ・ホストしたクラブ

R. I. 5010 地区 ウラジオストク・エコ RC(5040 地区デンバーRC と共同)

創立を支援した海外クラブ

R. I. 5010 地区 ハバロフスク RC、ウラジオストク RC